

久野木歯科クリニック



マイクロスコープを覗き込む久野木克典院長
細部を丁寧に確認しながら治療を進めて行く

マイクロスコープや歯科用CTがまだほとんど普及していない時代、当時、大木克典院長は、その重要性に気付かされた。抜歯を宣告されたある患者が、いくつもの歯科医院を巡り、大学病院にやつてきた。患者は抜かない治療を求めていた。このとき、神経の入つ

「初期投資は大きくなりますが、ここは曲げられません。CTを使い、肉眼で見えない病巣を正確に把握すれば、術前のイメージ通りに治療を進められます。歯の保存を目指す私の治療は、最新機器を用いた精密検査の上に成り立っているのです」

「歯の保存を優先する久野木院長のもとには、

ていた根管をきれいにして薬を入れる根管治療で、抜歯対象の歯が抜かれずに保存されるのを目の当たりにすることがある。それは最新の検査機器を駆使した治療だった。開院当初、真っ先に考えたことは、最新機器の導入だったという。

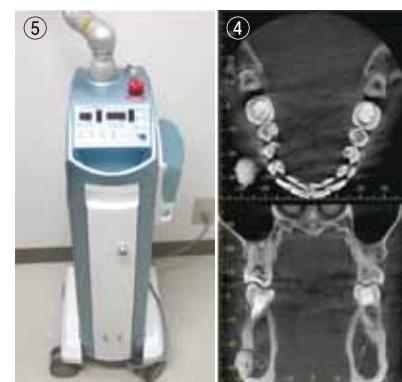
「根管治療はあらゆる治療の基礎です。家を建てるには、しっかりと土地が必要ですよね。これと同じで、どんなに良い治療をしても土台が悪ければ何年か後にダメになってしまいます。インプラント治療などの優れた治療法もありますが、やはり、自分の歯に勝るものはないと考えています。高齢になつても自分の歯でかんでもらえるように、当クリニックはオーダーメード治療を提供しています」

根管の形には個人差があり、とても複雑。時間をかけ、きつちり精密な治療を試みる久野木院長は適任といふ他ない。

取材／斎藤雅幸

最新機器の導入は開院当初に決めていた

根管治療に精通した久野木克典院長が最も重視するのは、患者さんの歯を可能な限り残すこと。最新機器で精密検査・治療に時間をかけるのはそのためだ。「もう抜くしかない」と言わされた歯でも、きちんと治療すれば救える可能性があるという。



充実した設備は医療において必要不可欠なものである

最新機器を用いて入念な検査を行えば、従来の肉眼での診断よりも正確さが向上し、治療をより良い結果に導くことができる。細心の注意を払い根管治療に取り組む久野木院長は、開院時からいくつもの最新機器を駆使して治療に当たっている。

①マイクロスコープ(歯科用顕微鏡)の導入により、他院で抜歯と診断された歯を抜かずに保存できるケースもあるという。②備えつけのディスプレイで、自分の歯の状態を確認しながら治療を受けることができる診察台。③3次元画像による正確な診断を可能にする歯科用CTは、根管治療のほか、インプラント治療、歯周病治療などでも力を発揮。④ミクロン位の治療を可能にするCT写真。⑤精密根管治療(マイクロエンド)の殺菌止血、虫歯の治療・予防、知覚過敏、歯周病治療、歯茎の黒ずみ除去、口内炎などの痛みの緩和などに用いるレーザー機器。

久野木歯科クリニック

診療科目：歯科、歯科口腔外科

診療時間：月～水・金 9:30～13:00/14:30～19:00
土 9:30～13:00/14:00～17:00

休診日：木・日・祝

〒113-0033

東京都文京区本郷1-22-6 本郷ハイホーム200

TEL.03-6801-5418

<http://www.kunoki-dental.com/>

<http://www.kunoki-micro.com/>

※根管治療は自由診療です。費用は6万～12万円